

## 読解力を伸ばすために ～新聞を使って学ぶとどんな良いことがある？～

指定校 1 年次 御代田町立御代田中学校 荒井 麻耶・花岡 直美・近藤 梓・佐藤 優子

### (1) 本年度のN I E活動の概要

本校の全校研究テーマは『生徒が授業をデザインし、友との関わりの中で学びを深めていく教科指導～生徒の意識に沿った単元のねらいと必要感のある友との関わりの方の設定～』である。N I Eの授業実践にあたって、国語科では、“読解力を伸ばすこと”を目標に、子どもたちの言葉や実感を大切にしながら、学習内容を考えてきた。

教科横断的な学習としての視点をもちながら、「国語科」だけではなく、「道徳」・「総合的な学習の時間」等での新聞の活用にも力を入れた。(4) 参照)

成果として得られたことは、新聞に対する「なんとなく難しそう」という思い込みが無くなったことである。記事を選ぶときにテーマを提示することで、一心に記事を読む姿が多数見られた。また、友達の選んだ記事に対して「人権としてこんなことも考えられるね」「人権と聞いても人によっていろいろな見方があるんだな」という感想をもつ生徒がいた。

一方、課題としては読むだけで精一杯の生徒がいたことが挙げられる。テーマがあることでかろうじて記事を探し出せたが、内容の考察や自分の考えを書いたり深めたりするところまではたどり着けず、自分の考えをまとめることのできない生徒も若干いた。また、N I Eでついた力が、生徒たちにとって真の力（汎用的に使える読解力）になっているかということ振り返りながら研究を進めていく必要がある。

### (2) 本年度のN I E活動をはじめる前の状況

本校は、全校生徒 402 名、16 クラス（特別支援学級 4 クラス）の学校である。

本校の 2 学年の生徒たちは、国語科の学習活動に対して素直に活動に取り組める良さがある。一方で、自分の考えに自信がもてず、自ら考えを發表することや考えを深めることを苦手とする傾向がある。文章の読解についても、授業で扱った文章については「覚える」ことで乗り切るが、初見の文章については今までの読解の仕方を活かした読みができず、考えをまとめられないことが多々ある。そのため、読解を苦手と感じる生徒が少なくない。

今回 N I E 研究指定校となったことをきっかけに、新聞について生徒に確認してみたところ、新聞を購読していない家庭が 50～60%、新聞になじみのない生徒が 60%以上であった。

### (3) N I E 活動の狙い（育てたい力）

読解力が伸びていくような実践をしていこうと以下のサイクルを大切にしながら授業を考えた。

- ①新聞を読む
- ②新聞で知る
- ③新聞記事を選ぶ
- ④新聞記事から考える
- ⑤新聞記事から考えたことをまとめる・伝える
- ⑥考えを広げる・深める

(4) 公開授業以外のN I Eの取り組みの状況

	内容	生徒の様子
5月	<p><b>1</b>教科書教材（2年：国語科） 『メディアを比べよう』 『メディアの特徴を生かして 情報を集めよう』</p> <p>共通するニュースを探したり、 特徴を考えて整理したり、それ ぞれの良さについて考えたりし た。</p>	<p>新聞のよさについて…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言いたいことがまとまっている。見出しがある。</li> <li>・タイトルが大きく載っていて、はっきり分かる。</li> <li>・情報が多様。</li> <li>・自分が調べることがなさそうなことを知ることができる。</li> <li>・編集者が確認しているから誤情報が少ない。</li> <li>・情報を正確に教えてくれる。</li> <li>・耳が聞こえない人でもニュースを知ることができる。</li> <li>・読解力がつく。</li> </ul>
10月	<p><b>2</b>『人権月間』にて、人権学習とのコラボ（2年・3年：国語科、道徳、総合）</p> <p>①パラアスリートの記事集め 元パラアスリートの方が来校され、車いすボールを体験したり、講演を聞いたりする日を前に、記事をスクラップし、玄関ホールへ掲示。パラリンピック、パラアスリートについて知る機会とした。</p> <p>②道徳の時間に、「命」に関する記事をスクラップし、掲示。</p> <p>③「人権に関連する」と自分が思った記事をスクラップし選んだ理由を添えて掲示。 記事から読み取った事実をもとに、「自分はそこから何を考えたのか」を書く活動へとつなげた。</p>	
	<p><b>3</b>新聞への投稿（全学年：国語科）</p> <p>さまざまな題材で500字程度の文章を書き、地元新聞に投稿。 (例) ①国語の教材について、その文章のあらすじと自分の考え ②新年の決意表明</p> <p>人に読んでもらおうという意欲が高まり、熱心に推敲する姿も見られた。</p>	
	<p><b>4</b>漢字の読みの学習（特支：国語科）</p> <p>特別支援学級（自情障）在籍で読み書きに抵抗のある生徒が、新聞に興味をもち、30分以上集中して読む姿が見られた。普段、漢字練習をしようとプリントを渡すと、全く取り組むことができない生徒だが、「この記事読める？」と聞くと、漢字のところでつまずきながらも、色々な記事を読むことができるようになっていった。 記事の切り抜きから自分の考えを書く活動へとつなげてみると、日本各地のおもしろい物にふれたり、世界各地での日本人の活躍を知ったりして、読む⇒知る⇒考えるのサイクルが回り始めた。</p>	
11月	<p><b>5</b>自らテーマを決めて記事集め （2年：国語科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを書く。</li> <li>・画用紙にまとめる。</li> <li>・テーマごと連にして掲示。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもは経済のことなんて全然考えないからもっと社会のことが知れた。</li> <li>・水害には色々とおそろしいことがある。防災は、事前に行うことが大切だと分かった。</li> <li>・投書を読んだら、最後の文に「はっ」とおどろくことが書いてあってもっとおもしろいと思った。</li> </ul>



- ・どの戦争も、犠牲者が多いことが分かった。
- ・戦争について、現状をあまり知っていないことに気づいた。もっと現状を知る必要があると思った。
- ・集めた記事の共通点から、自分の考えを深めることができた。

### 6 1分間スピーチ（2年：学級活動）

教室に新聞を置き、朝の学活で、その日のスピーチ担当生徒を決めた。担当生徒は、日中のうちに新聞を読み、気になる記事を選んでおき、帰りの学活で「分かったこと」＋「自分が思ったこと」を話した。スピーチのあと、ランダムな指名による質問タイムを設けることにした。聞く意欲が高まったり、集中して聞く姿が多く見られるようになったりした。

### 7 みんなで同じ記事を読む

（2年：国語科）

- ・「大谷選手」の記事と「デフリンピック」の記事について、分かったこと・考えたことを書く。
- ・班で共有する。



- 「大谷選手の記事」について
- ・「すごい。」で終わる生徒多数。
  - ・自分はそんなことできないから…
  - ・自分はどこことなくサボってしまっている…
  - ・ある意味自分と同じなのに…（自分との比較）
- 「振り返りより」
- ・いろいろな人の考え方を聞くことで、自分の思いが広がる。
  - ・お互いに聞き合ったら、新しい発見ができた。
  - ・自分と違う意見が多くあってすごくおもしろかった。
  - ・（友達に）共感できて、少し変わった気持ちもあった。
  - ・一人でやるときとは違って考えることがあった。

## （5） 公開授業などの活動内容

授業日	令和6年12月23日（月）	5校時
指導者	立科小学校 校長	金井直樹先生
授業学級	2年3組	男子15(1)名、女子13(1)名／計28(2)名
授業者	荒井 麻耶	
授業会場	2年3組教室	

### 1. 単元名

『 自分の考えを書こう！ ～オリジナル壁新聞づくり～ 』

### 2. 単元の目標

- （1）抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語などについて理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。【知識及び技能（1）エ】
- （2）目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるようにする。【B書くこと（1）ア】
- （3）言葉がもつ価値を認識し、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすることができるようにする。【学びに向かう力，人間性 等】

### 3. 評価規準

知識及び技能★	思考力, 判断力, 表現力等●	主体的に取り組む態度◆
抽象的な概念を表す語句の量を増やしたり、類義語を調べたりして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。((1)エ)	集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にして、文章や見出しを書いている。 (B(1)ア)	言葉がもつ価値を認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。 (学年の目標(3))

### 4. 単元計画

	学習内容	生徒の様子・振り返りから	評価
第1時 【個人】	◇気になる記事を探して、考えを書こう！ ・考えを書くときは、5W1Hを意識したり、根拠を明確にしたりすること。 ・リード文を作るときは、5W1Hの読み取りをすること。	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5月の学習から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の良さは、自分が調べることがなさそうなことを知ることができること。</li> <li>・新聞は、情報が多様である。</li> </ul> <p>10月の活動から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家でも新聞の投書を読んで、同年代の人たちの色々な考えを知るのがとても面白い。</li> </ul> <p>11月の活動から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんど関わりのない株の記事を読んでいくと、意外と面白かった。普段知ることがないことを知った。</li> </ul> </div>	● ◆
第2時 【グループ】	◇記事のテーマが同じ友と集まって、互いの記事と考えを読み合おう！ ◇模造紙に貼って壁新聞をつくろう！		◆
家庭学習	①与えられた新聞の見出しを切り取って貼る。 ・特徴や共通点、使われている表現技法を見つける。 ②見出しが抜かれた記事に見出しをつける。 ・必要に応じて、①で生徒が見つけた特徴を共有したり、検索エンジンのトップニュースの見出しが15字程度で書かれていることをおさえたりする。	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5月の学習から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞は、見出しがあるから分かりやすい。</li> <li>・タイトルが大きく載っている。</li> <li>・言いたいことがまとまっていて、タイトルがはっきり分かる。</li> </ul> <p>11月の活動から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しに線を引きながら記事を読み取る生徒がいた。</li> </ul> <p>他クラスの実践から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切り貼りやレイアウトに時間が割かれ、見出しを検討したり、吟味したりする時間が足りなかった。見出しを考えることの重要性を理解しきれていなかったように感じる。</li> </ul> </div>	★ ●
第3時 【全体】 【グループ】	◇自分たちの考えが表れる見出しを考えよう！ <u>【本時】</u>		●

5. 本時の主眼（第3時／全3時間）

同じテーマごとに集まって壁新聞をつくっている生徒たちが、壁新聞の見出しを考える場面で、見出しの掟を取り入れたり、自分と友の考えの共通点を見つけたりすることを通して、自分たちの見出しを考えることができる。

6. 展開（本時案）

段階	学習活動	予想される生徒の反応	支援／評価	時間	
導入	【NIE すべての授業を貫く問い】 新聞を使って学ぶと……？（どんな良いことがあるだろう？）			3	
	1. 今までの学習を振り返り、今日の課題を把握する。 【全体】	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁新聞に見出しつけるんでしょ。</li> <li>短くまとめていこう。</li> <li>どんな言葉がいいかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記事やテーマの見出しにならないよう、“考えが表れる”という条件をつける。</li> </ul>		
展開	【学習問題】 自分たちの考えが表れる見出しって何だろう？			5	
	2. 家庭学習の確認をしながら、「見出しの掟」をつくる。 【全体】	<ul style="list-style-type: none"> <li>大谷選手の記事を読んだとき、大事な言葉だと思ったから見出しに線を引きました。</li> <li>倒置法を使って強調されていることもあったよ。</li> <li>短い言葉でまとまっていて、見出しを読んだだけで、何が言いたいのか、すぐに分かるね。</li> <li>体言止めてカッコイイな。</li> <li>疑問形は、読者に考えてほしいのかもしれないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習のプリントに書かれた言葉から指名計画を立て、生徒の言葉から掟が決まるようにする。</li> <li>言葉を吟味できるよう、必要に応じて15字程度という条件をつける。</li> </ul>		
展開	3. 自分たちの見出しを考える。 【グループ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいをもつ人も生きやすい世界になるように、相手の気持ちを考えて行動することが大切だと思ったよ。</li> <li>私は、「思いやり」の気持ちが大切だと考えました。</li> <li>今年の人権月間で色々な体験をしたら、相手の立場にたつことが重要だと分かったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大谷選手のように、夢を追えるようになりたいな。</li> <li>野球ではないけれど、今は僕はバレー部で頑張っているから、これからも頑張りたいと思ったよ。</li> <li>今楽しいことは、楽器を吹くことです。高校に行っても続けて、上手になりたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書やクロームブックを活用し、類義語を調べたり、語彙を増やしたりすることを促す。</li> </ul>	32
	4. いくつかのグループの見出しを共有する。 【全体】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人権」という言葉はいらないかな。</li> <li>大切にしたいことは、みんな、「相手」だね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見出しに、「大谷選手」はいらないかな。</li> <li>夢を追うことの大切さを教えてくれている人だね、大谷選手って。</li> <li>野球が大好きって書いてあったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どうしてその言葉にしたのか、なぜそう思ったのかを問い返し、根拠を明らかにして語れるようにする。</li> </ul>	
	5. 自分たちの見出しを考え直す。 【グループ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「相手を思いやる気持ち」でどうかな。</li> <li>「考えて行動！いつも思いやりをもって」もいいかも。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「全力で、今好きなことを」が良いかな。</li> <li>もっと短く、「やり続ける」はどうかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動4と5は、必要に応じて何度か繰り返す。</li> </ul>	
終末	6. 学んだことや考えたことを振り返りシートに記入し、共有する。 【個人→全体】	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡潔に表現できるようにたくさん話し合いました。</li> <li>考えの共通点を見つけることが面白かったです。人権のテーマから、「相手」が一番大切な言葉だという結果になりました。</li> <li>自分たちが何を考えているのかを読み合って、短い言葉で表すことが難しかったです。倒置法を使って書くことができて、強調できたと思います。</li> </ul>	<p>自分たちの考えを表す見出しを考え、書くことができています。 (グループ活動の様子や、考えた見出し、振り返りシートの記述など)</p>	10	

## (6) 1年間取り組んだ成果と課題

公開授業に向けての単元は、2学年全クラスで取り組んだ。先行して授業を行った他クラスの実践の課題を省察して他のクラスに活かしたり、公開授業後にそれぞれのクラスの壁新聞を読み合ったりする時間を設けたりすることができた。

本年度のNIEの活動を通して、2年3組の生徒たちは、「新聞を使って学ぶと…？（どんな良いことがあるだろう?）」という問いに対して、以下のような答えを書いた。

- ・一つの記事からたくさんのことが考えられるようになる。考えさせられた。
- ・自分の考えが広がったり、新しい考えが浮かんだりする。
- ・自分はどう考えるのかと思いをめぐらせることができる。
- ・最初にあった自分の考えから、記事を読み終えたときに考えが広がって、他の人と共有したことによって考えが変わる。考えが深まる。
- ・初めは、新聞を読んでも何も感じなかったけれど、授業をやっていくうちに、新聞を読むと、自分の考えや思いが広がっていることに気づくことができる。
- ・今、世の中で起きていることとまっすぐ向き合い、自分たちが何をすべきなのかを考えることができる。
- ・色々な人の意見が聞けて、人の意見を聞くと、自分の視野が広がる。

国語科として“読解力”をつけられたのかどうか、振り返る必要がある。NIEでついた力がいつでもどこでも使える力になるよう、学習内容や方法の検討をしていきたい。



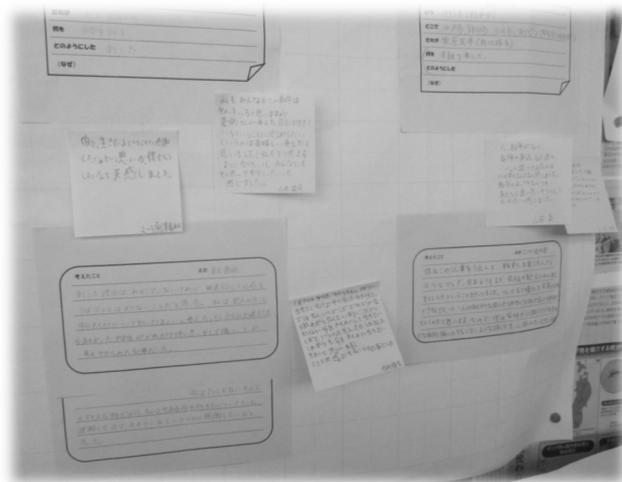
〈みんなで読んで考える場面〉



〈公開授業のグループ活動の様子〉



〈廊下に掲示した壁新聞〉



〈学年で壁新聞を読み合い、コメントを寄せ合った〉